

コロナウイルスと『がん』②

新型コロナウイルス感染症（covid 19）は、基礎疾患がある方は重症化しやすいと言われています。「がん」についても同様で、患者さんやご家族から不安の声を伺うことがあります。新型コロナウイルス感染症についてはまだ不明なことが多いですが、がん患者さんが気をつけるべきことなどを、現在分かっている範囲でご紹介致します（以下、がん関連3学会が出している患者さん向けの情報を参考にしています）。

がん患者がコロナの症状を疑う時はどうしたら良い？

がん治療中であれば、まずは主治医へ電話で連絡し、必要な指示を受けて下さい。連絡なしに病院へ行くことは避けましょう。

※ご高齢の方や基礎疾患があり重症化しやすいと言われている人は、発熱やせきなどの比較的軽い風邪の症状がある場合、すぐに相談・受診することを推奨されています。

がんの事、コロナの事など色々と心配で不安です。

感染症の影響で生活の変化を強いられる現状で、心配や不安を抱えるのは無理ありません。「自分は大丈夫」と思っている場合もあります。

ひとりで悩みこまず、電話やメールなどで身近な人や公的な相談窓口へ相談し話を聞いてもらうようにしましょう。

通院するとコロナを移されそうで不安です

受診の延期や中止については、主治医に相談する必要があります。自己判断せずに不安な点については主治医に確認してみましょう。

先の予定が分かっていると安心できるので、今後の治療についても確認しておきましょう。

病院へは行かずに薬だけもらうことができます

電話やインターネットなどを通じて診察を受け、病院に行かずに近くの薬局で薬を受け取ることができる場合があります。

また、薬剤師から電話などで薬の説明を受けて、郵送などの方法で薬を受け取ることができることもあります。

ただし、いずれの場合も受診しなくても良い状態であるか、主治医へご相談ください。

もっと知りたいと言う方は、お気軽にお電話ください。

当がん相談支援センターではメールでの相談にも対応しています。



高知大学医学部附属病院 がん相談支援センター

TEL088-880-2179（平日8:30～17:15）

当センターホームページ→

